

マイサークル

白石童謡の会

157

～童謡は「心の栄養」です～



「むずかしい合唱でなく、なつかしい童謡や唱歌をみんなで歌いたい」という声から始まった私たち「白石童謡の会」です。

早いもので、もう17年になります。月2回の練習で、現在75名の会員がいます。公民館まつりや仙南合唱祭に参加しています。敬老会にも毎年招待され、喜んで歌っています。

聴いてくださる方々にも喜んでいただける「しあわせな」サークルです。「雪のふるまを」「めだかの学校」などを作曲した中田喜直先生とホワイトキューブと一緒に歌ったこともよい思い出になりました。始めは斉唱で楽しんでいましたが、今は二部合唱や三部合唱でのハーモニーの楽しさを感じるようになりました。

野口雨情、北原白秋と、四季それぞれの詞の情感をしみじみ味わえる年齢でもあり、「心の栄養」です。声を出すことで健康にもよく、歌詞を暗記してステージに立つので、頭の体操にもなります。

これからも童謡を歌い続けます。

☎代表 米澤時子 ☎26-2742

市民文芸

応募方法
一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0257白石市字亘理町37-3、白石市情報センターへ。はがき1枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。
Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

岩崎 聰之介 選

病める夫ひたすらわれを待つならむ吹雪く朝あき身仕度をする 石田みどり
物溢るる世の中なれど亡き母の足袋つくるひてはげば温とし 石沢 敏子
旧正の賑はふ街にひとり来て春呼ぶ花を店に選びぬ 川村 静恵
春浅く冷たき潮に海苔を摘む父のその腕赤くはれたる 後藤 淑子
雪解どき湯気立つ土を押し上げて芽吹く水仙 鈴木 和江
声あるごとし 岩松 貞子
一日一日膨らみて来しこぶしの芽春の風にしかと耐へたり 岩松 貞子
福寿草昨日出でしが今朝の雪しばしば我慢す 斎藤タカ子
ぐまた融けむよ 斎藤タカ子
木より木へ渡りゆく鳥春を呼び丘のなだりに福寿草咲く 佐藤 とく
真向へる峯みねの雪かせに舞ふまんさくの花 春告ぐる頃 後藤今朝雄
踏まれても冬の芝生に萌え出づる青き草ぐさ ひねもす引きぬ 大槻 正兄
【評】一首目。かいがいしき・健気さの際立つ歌。きつと、旦那さまの側にもそうした健気さが見られるわけだろう。二首目。物には時に命が込められていて格別のものとなることがある。作者の喜びは下の句に乗って調べよく響く。三首目。よみがえる少女のような気分。明るい。

俳壇

遠藤 秋尾 選

火星去り仰ぐ夜空の余寒かな 山下 文
浜訛なつかしかりし若布売 山家 弘子
古鍋を替えて厨も四月かな 制野 リエ
みつ蜂のうなりとび交ふ梅日和 川村 静恵
父母も無き故郷や犬ふぐり 大庭 良子
風花の日なり明日の空如何に 福原 峯子
蔵王背に白石城の梅真白 高子うこん

散歩道さざんかの紅目に映えて 佐久間とみ子
春兆す風の一と日となりけり 遠藤 忠臣
世界一大きな花はラフレシア 白一 小四年
はすむ声一家団欒おひなさま 岩松 翔太
●日時 毎月第一日曜日13時～15時
●場所 中央公民館一階 図書室
詳しくは23ページをご覧ください。

柳壇

山田 風流 選

カテ飯を喰った体が長寿なり 高橋 要一
菩薩にはなれず夜叉にもなりきれず 小野嘉津子
酒一切断つ決心の 一気飲み 四竜 英夫
今日のネジいっぱい巻いて朝の靴 草野 清
警官にデカが張込む世とはなり 佐久間とみ子
笑顔より好きなものある福の神 平間 大恵
風邪ひいて馬鹿でないのをたしかめる 阿部みさ子
陣取りは相も変わらず新社員 佐藤 尚志
くるたびに淋しき置いて帰る孫 水戸 光穂
三十年家も夫婦も隙間風 大庭 良子
【評】一句目。糧飯にほかの具を混ぜた飯。戦後の粗食が今日の長寿のもとか。二句目。凡人は皆同じ。同じ体に仏も鬼も棲む。三句目。一大決心のもとぐつと飲むが、後の保証はない。本号をもって選者交代となります。愚選にもかかわらず協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。
「没にした句は夢にまでうなされる」風流 ※6月号から、柳壇の選者が米澤礼子さん(堂場前)になります。

International Corner

近年、母の日にカーネーションの花束をお母さんにプレゼントするけれど、もともとはそうではないと知っていましたか？

お母さんは、やはり古代から大切な存在なので、母の日を祝う行事の誕生は、はるか古代のギリシャ時代にさかのぼります。しかし、現代のようになったのは、約100年前にアメリカのフィラデルフィア市にいた女性が起こした行動がきっかけでした。自分の母を追悼するために、アンナ・ジャーヴィス (Anna Jarvis) は、2年目の母の命日に、教会で白いカーネーションを霊前にたくさんたむけ、母を偲んだそうです。このことが参列者に感動を与えて、数年をかけて全米に広がりました。そして、1914年のアメリカ議会で5月の第2日曜日を「母の日」と宣言しました。

5月の第2日曜日が母の日ということも、だんだん国際的になりましたが、国々によって違った母の日もあります。例えば、隣の韓国は、5月8日に「父母の日」として祝い、イギリスやアメリカの近くにあるメキシコなども別の日に

母の日を祝うそうです。母の日の定番は、やはりカーネーションで、これもあるような説があるそうです。花言葉で「母への愛」の象徴、「十字架に架けられたキリストに聖母マリアが涙した後に咲いた花」、「アンナ・ジャーヴィスのお母さんの大好きな花」という説もあります。本来はお母さんへの感謝を表すために、お母さんが健在な人は胸に赤い花を飾り、お母さんが亡くなられた人は白い花を飾ります。現在は飾るより、贈るスタイルになってきましたね。

私は、母に何を贈るか毎年悩みました。花より実用的なプレゼントを贈りたいので、なかなか見当たりません。4年前に、実用的と思った携帯電話を買って母に贈りました。母も喜んで持ち歩いています。でも、電源をいつも切っているからあんまり実用的ではありませんね。やはり、当日母の代わりに家事や料理をしたりするのが、一番いい母孝行だと思っています。

市内イベント掲示板 (5月1日～6月5日)

開催日	時間	イベント名	場所	有・無料	問い合わせ先	備考
3月16日(火)～5月24日(月)	9:00～17:00	森田丈三コレクション展 PART II	弥治郎こけし村	無料	弥治郎こけし村 ☎26-3993	
4月上旬～5月5日(祝)		白石城さくらまつり	白石城本丸・益岡公園	無料	商工観光課 ☎22-1321	
4月29日(祝)～5月5日(祝)	9:00～17:00	端午の節句展 ※5/3 10:00～ 笹巻づくり実演・試食	武家屋敷「旧小関家」	大人 200円 高校生以下100円	社会教育課 ☎22-1343	18頁掲載
5月1日(土)～5日(祝)	10:00～15:00	第1回春の検断屋敷まつり	検断屋敷	無料	小原公民館 ☎29-2031	16頁掲載
5月3日(祝)		白石市民春まつり	市内中心部	無料	商工観光課 ☎22-1321	
5月3日(祝)～5日(祝)	9:00～17:00	第46回全日本こけしコンクール 第11回白石市地場産品まつり	ホワイトキューブ	入場無料	商工観光課 ☎22-1321	
5月8日(土)	10:00～11:30	定期リサイクル教室「広告からはがきを作ろう」	いきいきプラザ	無料・材料持参 ※連絡必要	いきいきプラザ ☎22-1635	18頁掲載
5月22日(土)	8:30～12:00	いきいきプラザ フリーマーケット	いきいきプラザ	入場無料 ※出店希望者連絡必要	いきいきプラザ ☎22-1635	18頁掲載
5月23日(日)	10:00～15:00	碧水園茶会	碧水園	お茶券400円	古典芸能伝承の館 ☎25-7949	18頁掲載